

平成29年度第15回 教育委員会会議 会議録

- 1 日 時 平成29年12月18日（月） 13：15～16：26
- 2 場 所 3号館8階教育委員会室
- 3 出席者 <教育委員会>
雪村教育長 山本委員 梶木委員 伊東委員 福田委員 今井委員
<事務局>
川田教育次長 岡田スポーツ担当局長 浜本総務部長 大谷学校教育部長
日下社会教育部長 後藤教育施策推進担当部長
- 4 欠席者 なし
- 5 傍聴者 1名
- 6 会議内容

(雪村教育長)

ただいまより、教育委員会会議を始めます。

本日は、議案6件及び報告事項8件です。

このうち教第57号議案については、教育委員会会議規則第10条第1項第1号により、学校その他の教育機関の設置及び廃止に関する事。教第55号議案、報告事項6については、同項第2号により、職員の人事に関する事。教第56号議案については、同項第3号により、長の作成する議会の議案に関する事。教第53号議案については、同項第4号により、社会教育委員、公民館運営審議会委員及び法律または条例に基づき設置する附属機関の委員の委嘱及び解嘱並びに任免に関する事。報告事項3については、同項第5号により、訴訟または不服申し立てに関する事。教第54号議案、教第58号議案、報告事項1、報告事項4及び報告事項5については、同項第6号により、会議を公開することにより、教育行政の公正かつ適正な運営に著しい支障が生じるおそれがある事項であって、非公開とすることが適当であると認められるものとして、非公開としたいと思いますが、御賛同いただけますでしょうか。

(6名の賛成により非公開案件を決定)

(雪村教育長)

それでは報告事項8、「第7回神戸マラソン」開催結果について、スポーツ体育課より説明をお願いします。

報告事項8 「第7回神戸マラソン」開催結果について

(鳥形市民マラソン担当部長)

11月19日日曜日、おかげさまでお天気に恵まれて無事に終わりました。委員の方にも当日、ごらんになっていただいたと聞いています。ありがとうございました。

昨年に引き続き、第1ウエーブを9時、第2ウエーブを9時15分と2段階スタートを実施しました。

天候は晴れ、気温10.5℃、湿度は70%ぐらいです。去年は気温19℃、湿度が80%から90%ということで非常に蒸し暑かったのですが、ことしはランナーにとっては非常によかったと思います。ただ、応援する人やボランティアの人は非常に寒かったと聞いています。

出走者数は、速報値で1万9,709人です。定員は2万人でした。完走が1万8,949人で、完走率は96.1%です。これは、たまたま去年と全く同じですが、7回のうちで一番低い数字です。大体97%少しかったのですが、最近はこれぐらいの数字になっています。

上位入賞者です。外国人の方ばかりですが、男子は1位がモロッコの方、2位がケニアの方、3位もケニアの方でした。女子も、1位がアメリカの方、2位がモロッコの方、3位がエチオピアの方と、アフリカ勢が強いです。以前少し申し上げましたが、国際陸上競技連盟が設定したブロンズラベルというものがあり、来年にはこれを取得したいと思っています。これは、外国人選手を招聘することになっているので、今回はたくさんの外国人を呼びました。結果として1、2、3位が全部外国人の方になってしまいましたけれども、日本人の男子最高は5位の片川さんという方で、2時間18分でした。トップから6分ぐらいあいています。女子の日本人最高が大樽さんという方で、神戸学院大学の3回生です。2時間40分でした。彼女は前回も前々回も4位で、気の毒だなと思っていますが、今回は3位と4位が同タイムで2時間40分41秒でした。タッチの差でしたので、次回頑張りたいと思っています。

5の主な出場選手です。先ほど申し上げたように、外国の選手をたくさん呼んでいます。2ページにはゲストランナーを載せています。往年の中山竹道さんは57歳ですが、3時間2分15秒と非常に速いペースで走っています。中山さんは、御子息もペースセッターとして走っていただきました。渋谷さんや中村友梨香さん、小林祐梨子さんはファンランとして、ファンの方に愛きょうを振りまきながら走っていただいたので、タイムは少し遅いですが、完走していただいています。フレンドシップランナーは歌手の方、俳優の方などいろいろですが、元プロボクサーの長谷川穂積さんにも走ってもらいました。奥様と妹さんも走られて、3人とも完走でした。長谷川さんは当初5時間半で奥様と一緒にゴールする予定だったのですが、最後の1キロは4分で走られたので、伴走者も振り切ってぶっちぎりでゴールされました。ポートアイランドにお住まいということで、そうされたのかなと思います。大会ゲストは例年どおり、スタートからフィニッシュまで有森さんに応援いただいて、金さんにはランナーとして走っていただきました。4時間21分でした。

6、イベント等の来場者です。大会の前日、前々日にはポートアイランドの国際展示場でE X P Oを行い、入場者数は2万8,500人でした。沿道の応援は約60万人です。集客イ

ベントについては、鉄人28号がある若松公園、ノエビアスタジアム神戸、市民広場の3カ所で4万1,500人です。少し寒かったので人数が減っていますが、4万人強ということで、昨年並みになっています。

ボランティアの参加人数は7,500人でした。

やはり天候が影響したと思いますけれども、去年は救急搬送が19件も出ましたが、ことしは熱中症や水分不足がなかったもので、救急搬送が9件と半減しています。私たちが用意した救急搬送車ですけれども、これも去年の12件からことしは6件ということで、ちょうど半分になりました。救護所も去年は700件強あったのですが、ことしは400件ということで、4割方落ちています。そういう意味では非常によかったなと思っています。AEDの使用もありませんでした。

問い合わせですが、一番問い合わせが多かったのは交通規制に関することでした。あと、苦情・要望として、騒音に関することや、もうやめてほしいという電話もありました。ことしはコースを一部変更し、ポートアイランド内のコースを短縮して西舞子のコースを延ばした関係で規制が少し変わりましたので、その問い合わせもあったと思います。

来年の予定ですが、平成30年11月18日の第3日曜日に決定しています。あと11カ月ということで、準備を進めているところです。コース変更についても、折り返し地点の回転場所は狭かったですが、無事にうまく回れましたし、ランナーからもポートアイランドに入ってから早くゴールできるということで非常に好評でした。ベスト記録が出た方も結構おられたと聞いています。

以上です。

(雪村教育長)

第7回神戸マラソンについて、御意見または御感想などありませんでしょうか。

(梶木委員)

ゴール地点のにぎわいはいかがでしたか。

(鳥形市民マラソン担当部長)

フィニッシュエリアですが、ことしは神戸学院大学や夙川短大などの大学生を中心に、ブラバンとジャズの演奏をしていただき、それはにぎわいました。一方、一般の観客は例年より少し少な目でした。特に、11時15分ごろからトップランナーが入ってくるのですが、その時点では少なかったです。昼前後には観客も大分入ってきたので、これもだんだん定着してくるかなということで、ある程度のにぎわいは保てたと思っています。

(雪村教育長)

梶木先生は実際に走られましたが、折り返し地点はいかがでしたか。

(梶木委員)

たくさんの方が回られたときは、結構回りづらかったという話は聞きましたが、私はそんなに速くないので、すいているときは普通に回れました。家族が見に来ていたので手を振ることもできました。

それより何より、ゴールまで海に向かって走るということで、一回山に向かって走らなくていいのはいいですね。昨年までの神戸マラソンでは、最後のゴールの前に一旦山を向いて走らないといけないので大変だったのですが、ことはすごくよかったですと思います。

(鳥形市民マラソン担当部長)

ありがとうございます。

(梶木委員)

気温が低かったのがよかったと思います。私は2回しか出ていませんけれども、自己ベストを更新できました。

(鳥形市民マラソン担当部長)

素晴らしいですね。

(梶木委員)

言うのも恥ずかしいですが、皆様の応援のおかげです。

ボランティアの方がすごくたくさん出てきていただいていますけれども、1点気になったことがありました。入るときにボディチェックがあるのですが、チェックしているぶりだけという感じがしました。

(鳥形市民マラソン担当部長)

金属探知機を稼働させています。

(梶木委員)

たくさんの方が入られるので、ほとんどスルーで入っている感じでした。私たちは全然チェックされずに入れたので、やる意味はあるのかなと感じました。

(鳥形市民マラソン担当部長)

県警の指導のもとでやっていますが、探知機の数と、ランナーの数、チェックする側の数の問題もあると思います。

(梶木委員)

チェックしているのはアルバイトの方ですか。

(鳥形市民マラソン担当部長)

ボランティアとアルバイトの両方がいます。

台数をふやせば、ある程度は解決すると思います。

(梶木委員)

何かあったときのために、指導が入るのはわかります。

(鳥形市民マラソン担当部長)

テロ対策と言われています。

(梶木委員)

でも、あれでは全然防げていませんよね。

(鳥形市民マラソン担当部長)

そうですね。ほとんどのランナーの方は着がえていてその状態です。

(梶木委員)

そうですね。だから、少し気になっています。

何かあったら怖いのは確かでしょうけれども、混んでもまたすごく苦情が出ると思いません。

(鳥形市民マラソン担当部長)

わかりました。

(梶木委員)

あと、最初にバナナが出たのもよかったと思います。

(鳥形市民マラソン担当部長)

10.8キロ地点でバナナを出しました。

(梶木委員)

でも、バナナが少し多いかなと思いましたが。最後に1カ所だけミカンがありましたが、個人的な感想では、喉が渇くので途中でミカンがあってもいいかなと思いましたが。

(鳥形市民マラソン担当部長)

はい。ありがとうございます。

(今井委員)

要望・苦情が39件ですが、これはどこに寄せられたものをどう集計しているのですか。

(鳥形市民マラソン担当部長)

コールセンターと、直接本部にかかってきたものを集計した件数です。大まかな分類では、交通規制や応援がうるさいということ、駐車場の問題ということで集計していますが、大体これぐらいの件数で、少し減ってきています。神戸マラソンが定着したこと、あるいは諦められたということもあるかもしれません。

(今井委員)

本部だけではなく、中継所などいろいろなところでじかに寄せられた御意見はありませんか。

(鳥形市民マラソン担当部長)

多分、ボランティアやガードマンなどは聞いていると思いますが、特に問題があれば本部に電話が入ってきます。現場で抑えられないようなものです。1件あったのが、規制があって駐車場に入れないということで、ガードマンにそこに停めておいたらと言われたのでそこに停めておいたら、帰ってくるとガードマンもみんないなくなって駐禁を張られてしまっていたという、気の毒なお電話でした。そのような内容の御意見は本部でないと対応できません。割と濃いものから薄いものまでいろいろあります。

(雪村教育長)

ほか、特にありませんか。

(「はい」の声あり)

(雪村教育長)

それでは続いて報告事項7、第4回神戸市教員育成協議会について、総合教育センターよりお願いします。

報告事項7 第4回神戸市教員育成協議会について

(田原総合教育センター首席指導主事)

それでは報告事項7、第4回神戸市教員育成協議会について御報告します。

12月13日水曜日に開催しました。1ページの次第にあるように、今回の協議会では、教諭等に関する育成指標の案、校種・職種別指標の案、管理職の指標の案を示し、検討していただきました。

2ページが参加者の一覧です。一番上の芦屋大学は御出席の予定でしたが、当日急遽御欠席となりました。あとは、大阪体育大学と兵庫大学が御欠席ということで、3校が御欠席でした。

3ページから12ページには、前回11月に行った第3回協議会で出た御意見及びその後にメールでいただいた御意見をまとめて載せています。専門的な見地からたくさんの示唆に富んだ御意見をいただき、大変参考になりました。それらを参考にさせていただき、事務局で協議し、修正を加えさせていただきました。

13ページの別紙1が第3回協議会でお示ししたのですが、これを修正したものが14ページの別紙2です。この資料を第4回協議会でお示ししました。第3回から修正した箇所を赤で表示しています。

次に、校種・職種別については、15ページの原案を修正した、16ページの別紙4をお示ししました。前回は御説明したとおり、別紙4は、別紙2の学習指導の部分を主に読みかえるということで表示しています。同じく、赤い部分が今回修正のあった箇所です。

続いて、管理職の指標については、17ページが原案ですが、それを修正した18ページの別紙6をお示しして御協議いただきました。これについても、赤い部分が今回修正した箇所です。

修正箇所について説明しますので、14ページの別紙2をご覧ください。ここについては、いろいろ議論がありました。まず一番上の「神戸市の求める教員像」の3つ目、「視野が広く対応力のある教員」の右側です。前は「対人関係能力」という言葉だったのですが、再び「コミュニケーション力のある教員」という言葉に戻し、下の大項目「⑤人材育成・自己研鑽のコミュニケーション」と合わせました。

それから、大きく変わったところでは、下の⑤に赤字で書いている「コンプライアンス」という小項目を追加しています。前は大項目⑦に「自律心」という項目がありましたが、「神戸市の求める教員像」に「自律心のある教員」という文言があるからいらなのではないかという意見があり、一旦は削除しようと思ったのですが、「⑤人材育成・自己研鑽」のところに入るのではないかということで、今回ここに「コンプライアンス」という小項目を入れました。本来は全部初めから同じような指標になろうかと思いましたが、やはり経験を積むに従って、より高度なコンプライアンスが求められるであろうということで、文言の調整は難しかったのですが、第1ステージから第4ステージまでの4段階で表記しました。これが教諭等における大きな変更です。

そのほか、16ページの校種別指標については、とりわけ幼稚園教諭のところを変更して

います。たくさんの大学の先生に、専門的な見地から御指摘いただいたので、文言の修正等をさせていただきました。これも今少し議論になっていますが、一番上の小項目が「環境の構成」となっています。一番下は「保幼小の連携」と、小項目も変えさせていただきました、今、検討させていただいているところです。

18ページの管理職については、ごらんのとおり、前回お示しした原案から、御意見をたくさんいただき、相当変更させていただきました。下の指標も赤い部分がかなりふえていますが、文言等を精選し簡略化する中で意味が通じるように変更した次第です。

続いて、19ページは、現在我々がやっている教職員全ての研修体系です。これは毎年示しているものです。基本研修、専門研修、職務研修、自己啓発研修と色分けしているそれぞれの分類で表示しています。右側にそれぞれの細かい研修内容を書いています。この研修の中から教員の研修だけを抜き出して、先に提示した教諭等の育成指標の表にはめ込んだものが次の20ページの表です。

上の表題には、「指標に基づく研修体系」と書いていますけれども、これは指標に基づく研修計画になるかと思います。先ほど説明したように色分けをしていて、青色が基本研修となっていますのでそれでわかるかと思います。これで点検したところ、教諭等の指標全てに対応する研修があるということが検証できました。最終的には、教員に対しても説明の中でこの表を示していきたいと思っています。来年度の研修については現在計画ですので、育成指標ができればそれに基づいて精密にはめていくことになります。

今後の予定ですけれども、先週13日に行われた協議会でもたくさんの御意見をいただきました。また、メールによる意見聴取も行っていきます。それらの意見をもとにさらに修正を加えて、次回、1月22日の第5回協議会で育成指標の最終案として提示する予定です。そこでまとまった育成指標をもとに、1月29日の教育委員会会議では最終的な育成指標について、御協議、御決定いただきたいと思っていますのでよろしくお願いします。

以上です。

(雪村教育長)

教員育成協議会の報告についていかがでしょうか。

(福田委員)

本当に時間をかけて練られていて、基本的ないい指標ができていると思います。1つお聞きしたいのは、計画を立てて、これが実施されていくわけですけれども、この計画の修正について、スケジュール上の見通しはどうなっていますか。何年ごとにこの計画を改正していくかということを考えないといけないと思います。

(田原総合教育センター首席指導主事)

19ページの研修体系に基づいて教員研修を実施していますけれども、毎年、実施した研

修についてはアンケートで御意見をお聞きして、事務局内部でも検証を重ねて、研修の内容を見直しています。この育成指標は今回初めてつくりますけれども、育成指標についても、実際に研修を実施した結果を毎年のように少しずつでも反映させて修正していくものだと考えています。

(福田委員)

P D C Aサイクルを回していくことが極めて重要だと思います。せっかくだいい案が出ていますので、つくって終わりではなくどんどん改善していくシステムをつくっていただいたほうがいいと思います。ぜひそういう意味で行動されることを期待しています。

(田原総合教育センター首席指導主事)

はい。たくさんの大学の先生に御協力いただいていますので、今後も協力いただきながら、それを続けていきたいと考えています。

(雪村教育長)

ほか、何かございませんか。

(田原総合教育センター首席指導主事)

実際、第4回でもたくさん意見をいただいていますので、また次回も大分修正が入ると思います。

(山本委員)

今言われたように、さまざまな意見を集約して、ここまで固められたということですが、やはり実際に現場へおりたときには、毎年アンケート結果や現場の反応を綿密に見ていきながら、修正していくことが大事だと思います。

あわせて、教育委員会の中の施策とどうタイアップしていくかということも考える必要があります。メンタルヘルスやワーク・ライフ・バランスのところも、多忙化解消の問題が随分絡んでくると思うので、全てがここへつながってくるのかなと思います。そういう意味では、教育委員会で今やっている施策や、これから出てくる施策に関しても、これとあわせて考えていくことが必要なのかなと改めて思いました。

(田原総合教育センター首席指導主事)

ありがとうございます。できるだけ反映できるようにしているのですが、まだまだ完璧なものではありませんので、修正を続けながらやっていきたいと思っています。

(雪村教育長)

第5回協議会の予定を確認させてください。

(田原総合教育センター首席指導主事)

1月22日の予定です。

(雪村教育長)

1月22日の第5回協議会で、一応の区切りですか。

(田原総合教育センター首席指導主事)

そこで最終案を提示して、意見をいただくとは思いますが、微修正をかけて、1月29日の教育委員会会議で最終的に御協議いただこうと考えています。

(雪村教育長)

1月22日の協議会の後に、もう一度教育委員会会議にかけるということですね。

(田原総合教育センター首席指導主事)

はい。そこで最終決定いただくことを考えています。

(雪村教育長)

よろしいですか。

(「はい」の声あり)

(雪村教育長)

それでは、また次回もありますので、お気づきのことがあれば連絡してください。

(田原総合教育センター首席指導主事)

ぜひ、よろしく願います。ありがとうございました。

(雪村教育長)

続いて報告事項2、平成29年第2回定例市会（11月議会）の報告について、総務課より願います。

報告事項2 平成29年第2回定例市会（11月議会）の報告について

(豊永総務課長)

事前に資料をお送りしていますので、簡単に説明させていただきます。

まず、12月1日の文教こども委員会ですが、まず、予算第26号議案ということで一般会計補正予算を説明し、それに関連して第105号議案から第110号議案の指定管理者の指定の件について説明しました。質問は4つ出ました。まず日本共産党の味口委員から三宮図書館についてということで、バスターミナルへの移転に関していろいろと御質問がありました。あと、日本維新の会の山本委員から、図書館サービスについてということで、明石の図書館との比較の話がありました。それから、自由民主党の安井委員から、体育館施設の充実について、財産区などと連携して整備をしてはどうかという御意見です。それから、日本共産党の山本委員から、青少年科学館の展示のリニューアルに関する指定管理者の関与の関係で御質問がありました。

それから、(2)として請願第22号、それから陳情第159号の關係の質疑がありました。まず、自由民主党の岡田委員から、3歳児保育の制度上の位置づけについて、3歳児保育が幼稚園で可能なのかという御質問がありました。それから、市立幼稚園の施設の老朽化について、新社会党の小林委員から質問があり、3歳児保育の実施拡大について、日本共産党の味口委員から御質問がありました。

それから、(3)陳情第162号の関連で御質問がありました。まず、自由民主党の岡田委員から、陳情の趣旨についてということで、高校の35人学級のメリットについて。それから、日本共産党の山本委員から、少人数学級の推進について35人学級を進めるべきだという御意見がありました。

それから4つ目、神戸マラソンの開催結果について報告しました。まず、民進こうべの川内委員から安全対策について、折り返し地点の關係についての質問です。それから、自由民主党の安井委員から、灘区・東灘区方面へのコースの検証について御質問がありました。

その他所管事項として、民進こうべの平木委員から、港島学園の学校施設整備についてということで、進捗状況の関連です。それから、新社会党の小林委員、自由民主党の安井委員、自由民主党のしらくに副委員長から、垂水区の自死事案について質疑がありました。民進こうべの川内委員から、教員の多忙化対策についてということで、タイムレコーダーの記録をどのように生かすのかという御質問です。それから、小学校給食調理等業務の民間委託について、日本共産党の山本委員からです。それから、開発指導条例について、日本共産党の赤田委員から、受け入れ困難地区での対策についての御質問でした。

それから2つ目、第2回定例市会11月議会の一般質問です。

まず、(1)自由民主党むらの議員から、市長のリーダーシップについてということで、教育に関する市長のテコ入れという話でした。2点目、自由民主党のむらの議員から、学用品の指定業者選定について、生活保護世帯への負担の観点での御質問がありました。3つ目、自由民主党の岡田議員から、いじめ問題対策について——これは垂水区の事案です。4つ目、自由民主党の岡田議員から、図書館の充実についてということで、垂水図書館等

の充実。それから5つ目、自由民主党の岡田議員から、小・中学校の教室不足についてということで、舞多聞地区のお話です。6点目、公明党の向井議員から、こどもの相談窓口について、SNSを活用したらどうかということ。7点目、公明党の向井議員から、学校のトイレ環境について、スピード感を持って取り組むべきということ。8点目、日本共産党の朝倉議員から、学校園のエレベーターの早急な設置について。9点目、日本共産党の朝倉議員から、特別支援教育支援について人員確保の観点での質問。10点目が民進こうべの池田議員から、スクールバスの運行について、通学環境の改善という観点での御質問。11番目、民進こうべ池田議員から、大沢小・中の話ですが、生徒増の対応ということで設備の改善という観点からの御質問です。最後、12点目、民進党の高岸議員から、スポーツ振興による都市政策について、大規模イベントを機に都市の遺産にしてはという御質問でした。

11月議会の報告は以上です。

(雪村教育長)

第2回定例会市会（11月議会）の報告について、何かございますか。
よろしいですか。

（「はい」の声あり）

(雪村教育長)

それでは引き続き、主要行事の報告と予定について、総務課より説明してください。

その他報告事項 主要行事の報告と予定

(豊永総務課長)

1つ目、11月27日以降の主要行事については、記載のとおりです。

2番目、今後の主要行事予定ですが、12月19日から20日まで校園長選考試験。12月21日木曜日、中学校長会との教育懇談会。1月4日木曜日は新年合同祝賀会。1月7日日曜日ですが、あじさいコンサート。1月15日は神戸ユース賞選考審査会となっています。

3番目、次回の教育委員会会議ですが、1月15日の13時15分から定例会を予定しています。

以上です。

(雪村教育長)

主要行事について、何か確認や追加はございますか。

ないようでしたら、その他、教育委員の皆さんから、教育委員会会議で取り上げるべき

項目について、御意見はございませんでしょうか。

何かございましたら、また後日でも結構ですので、事務局までお伝えいただきたいと思
います。

それでは、ここで公開案件については全て終了しましたので、傍聴者の方は恐れ入りま
すが、御退席願います。

(傍聴者 退席)

(雪村教育長)

それでは、ここから非公開案件に入ります。

教第53号議案、神戸市立小磯記念美術館協議会委員の解嘱及び委嘱の件について、博物
館よりお願いします。

教第53号議案 神戸市立小磯記念美術館協議会委員の解嘱及び委嘱の件

(寺田博物館副館長兼事務局長)

議案の4ページをごらんください。

まず協議会設置の趣旨ですが、学校教育・社会教育・家庭教育の向上に資する活動を行
う者・学識経験者の各分野から、美術館の運営に関して意見をいただき、「開かれた美術
館づくり」に資するということです。

2の役割ですけれども、美術館の運営に関して、館長の諮問に応ずるとともに、館長に
対して意見を述べるという機関です。

それから、4の委員構成ですが、今現在は7名で、内訳は学校教育関係1名、社会・家
庭教育関係2名、学識経験者4名という形です。

5の設置の根拠ですけれども、博物館法、同法施行規則です。神戸市ではこれを受けて、
神戸市立小磯記念美術館条例、それから神戸市立小磯記念美術館条例施行規則で設置や運
営の方法について規定しています。

条例の第11条第4項をごらんください。協議会の委員の任期については2年となってお
り、ことしの1月1日から来年の12月31日までが任期ですが、今回、任期途中ですけれど
も、家庭教育関係者として、PTA協議会の方で委員の変更がありましたので提案させて
いただきます。

それともう1点、昨年の教育委員会会議において、これからの美術館運営に関して、若
い人からも意見を取り入れたらどうかという御意見をいただきましたので、今回、新たに
大学生を1名増員しようというものです。今回は、家庭教育関係委員の方の変更と、それ
から1人ふやして8名体制に変更するという提案です。

2ページにお戻りください。現在の委員と1月以降の委員の候補を掲げており、左側に

現在の第12期の委員です。網かけをしている方が交代される方です。まず、家庭教育ですが、今回は神戸市PTA協議会から、家庭教育専門委員会委員長の辻本様を御推薦いただいています。それから、新たに増員する委員ですが、「その他の教育委員会が適当であると認める者」として、区分は「その他」とさせていただきます。甲南大学の山田莉緒様です。大学生の方ですけれども、小磯記念美術館は東灘区に立地していますので、甲南大学から推薦をいただきました。

よろしく御審議をお願いします。

(雪村教育長)

小磯記念美術館協議会委員について、いかがでしょうか。

(今井委員)

山田さんという若い方が入っていただけるということはすごくいいと思うのですが、何分ほかのメンバーが御年配の方ですよね。お一人だけすごく若いので、できるだけ御発言いただきやすい雰囲気をつくっていただきたいと思います。せっかく入っていただくので、御意見をいただけるような運営をしていただけたらと思います。

(雪村教育長)

確かにそうですね。

(伊東委員)

今は2回生ですか。

(寺田博物館副館長兼事務局長)

2回生です。

(雪村教育長)

伊東先生、面識はありますか。

(伊東委員)

私は文学部を担当していないのでわかりませんが、知識面でそれ相当の単位がとれていたらいいなと思います。

(寺田博物館副館長兼事務局長)

私たちから教育・地域連携センターにお話をさせていただいて、教育・地域連携センターから御推薦いただきました。内部的な話はわかりませんが、この方自身は文化的な興味

をお持ちだとお聞きしています。やはりこういう協議会ですし、今井先生から言われたように積極的な意見が言える方をオファーさせていただきましたので、御意見をいただけるのではないかと考えています。そのあたりは配慮しながら運営したいと思います。

(雪村教育長)

委員の解囑、委囑について、承認いただけますでしょうか。

(6名の賛成により可決)

(雪村教育長)

ありがとうございました。

続いて教第56号議案、建物等取得の件（舞多聞小学校）に関する意見決定の件について、お願いします。

教第56号議案 建物等取得の件（舞多聞小学校）に関する意見決定の件

(松浦学校環境整備課長)

教第56号議案の御審議をお願いします。

本件は、平成26年度から平成28年度に一般財団法人神戸すまいまちづくり公社において先行建設した舞多聞小学校の学校施設を買い入れようとするものです。

本件は8,000万円以上の財産の取得になりますので、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得または処分に関する条例に基づき、議決案件になる項目として、市会に付議されます。それに先立ち、市長より教育委員会の意見を聴取されていますので、異議なしとの意見決定をさせていただくものです。

なお、本件の予算については、11月の補正予算において措置されています。今回、公立学校施設整備負担金事業の校舎、体育館について、10月に文科省の交付決定を受けたため、買い戻しを行うことにさせていただいています。

なお、この時期になったのは、学校の負担金が最大化される学級数になりましたので、一番有利な条件で補助を充てるということで、この時期に文科省に申請を行ったものです。

そのほかの給食室等については、平成28年度の補正予算で買い戻し済みですので、今回の買い戻しによって、舞多聞小学校の買い戻し全てが完了することになります。

資料の2ページをごらんください。買い入れの対象及び校舎施設等について、簡単に説明させていただきます。

まず1の買入物件ですが、垂水区舞多聞西にある舞多聞小学校の校舎、体育倉庫、禽舎——これは飼育小屋です。それから屋内運動場、グラウンドを買い戻します。

2に記載のとおり、買入価格は27億5,400万円余となっています。なお、この金額につ

いては、学校建設に当たり、公社が銀行から借入れを行っています。その借入れについて、3カ月程度の期間で精算を行っていますので、平成29年12月末から買い戻し予定日までの利息は、この時点で確定していません。そのため、借入金確定後に正式な金額に修正させていただきたいと考えています。

以上です。よろしく御審議のほどお願いします。

(雪村教育長)

建物等取得の件について、いかがでしょうか。

よろしいですか。

(6名の賛成により可決)

(雪村教育長)

それでは、この議案について異議なしという形で、市長へ意見を返したいと思います。

(松浦学校環境整備課長)

ありがとうございます。

(雪村教育長)

それでは続いて、報告事項5、神戸市立工業高等専門学校平成30年度からの教育課程の変更についてお願いします。

報告事項5 神戸市立工業高等専門学校の平成30年度からの教育課程の変更について

(中野工業高等専門学校担当部長)

工業高等専門学校の平成30年度からの教育課程の変更について、御報告させていただきます。

(若林工業高等専門学校副校長)

来年度からの教育課程の変更ですが、大きく分けて3つあります。

1つ目は一般科目、2つ目は都市工学科の専門科目、3つ目が専攻科です。順に御説明します。

一般科目は、昨年度、カリキュラム・ポリシーを策定しました。この中では、一般科目について、基礎的な学力を養うとともに、調和のとれた感性豊かな人間性を養い、幅広い教養と思考力を身につけることとしています。これらを踏まえて、次のような教育課程の

変更を考えています。

1つ目が教養科目の充実ということで、左側に通年（2単位）の科目が7つありますけれども、この選択肢を広げて、右側の半期科目を設けるということです。

2点目が、国語についてです。国語は現在1年生から4年生までの9単位ありますが、4年生に国語表現法という科目を設けます。トータルでは8単位になるのですが、思考力の養成に重点を置いて、入学から進路決定に至るまでの4年間一貫の教育を行いたいと考えています。また、5年生には選択科目があります。

ページをめくっていただくと、理科について書いています。従来、物理、化学以外は、応用化学科は2単位でしたけれども、生物が1単位でした。そこに、生物を2単位化するとともに、地学を新たな科目として設け、生物と地学のどちらかを選ぶという選択制を考えています。理科のトータルの単位数は変更ありません。

4つ目が数学です。数学は中学校の学習指導要領の改訂時に1年生の単位数をふやしたため、数学Ⅰ6単位、数学Ⅱ2単位となっていますが、学生の負担軽減等の理由から内容の改編を試み、数学Ⅰ4単位、数学Ⅱ4単位としようと考えています。あと、確率統計については名前の変更です。

都市工学科の専門科目については、水理学という基幹科目がありますが、今は3年生1年間と4年生半期の受講でした。それを十分な学習時間を設けるよう、3年生、4年生の科目配当としています。あと、複数年次で開講する科目を細分化することにより、大学編入時の単位認定をスムーズに行うように考えています。

最後に、専攻科です。機械システム工学専攻と都市工学専攻について、そこに上げている変更を行うことにしています。

説明は以上です。よろしく申し上げます。

（雪村教育長）

この件についていかがでしょうか。

福田先生、何か御意見ございますか。

（福田委員）

特にありませんが、1点確認です。1ページにある一般科目の教養ですが、改正前と後で比べると、改正後は教養ABCとわかれていて、ここに非常に多くの授業科目が設定されていますね。改正前に比べてこれだけの授業科目をふやすと、教員の負担や、あるいは内容の重さ、軽さはどう変わりますか。

（若林工業高等専門学校副校長）

現行は、1年間学ぶ通年の科目としていますが、そこを半期科目としてこれだけの科目数を設けることにより、大体、教養科目のボリュームとしては1.5倍になります。教員の

負担に関しては、一般科の先生はこれだけの科目数を担当いただくという基準がありますので、その範囲内で対応できると考えています。

(福田委員)

それともう1つ、質問ではありませんが確認です。2ページ目の理科の科目が改正後に生物と地学の2単位になっていますよね。生物の単位数をふやすという説明がはっきりしなかったので、そこをもう一度、確認で教えてください。

(若林工業高等専門学校副校長)

現行は、生物は、応用化学科は2単位ですが、その他の学科は1単位になっています。それを生物2単位とします、それに加えて、地学2単位を設けますので、生物か地学はどちらかを選ぶという形です。

(福田委員)

学科によって違うわけですね。

(若林工業高等専門学校副校長)

現時点で考えているのは、応用化学科は生物、都市工学科は地学、その他の機械、電気、電子は学生ごとの選択を想定しています。

(福田委員)

わかりました。

(雪村教育長)

ほか、御質問いかがでしょうか。

特によろしいですか。

(「はい」の声あり)

(雪村教育長)

それでは、教育委員会会議としてはここで閉会させていただきます。

閉会：午後4時26分